

「ジェネリック医薬品（後発医薬品）」は、先発医薬品（新薬）の特許が切れた後に製造・販売される「新薬と同じ有効成分を同量含んでおり、（新薬と）同等の効き目がある」と認められた医薬品です。これらから皆さんにもっとジェネリック医薬品を知ってもらうために分かりやすく説明したいと思います。

Q1. どんな病気にジェネリック医薬品がありますか？

高血圧症、糖尿病、脂質異常症（高脂血症）などの生活習慣病、花粉症のようなアレルギー疾患や爪白せん（爪水虫）のお薬、抗生物質、そして抗がん剤、とあらゆる病気にジェネリック医薬品が発売されています。薬の形状も、錠剤、口腔内崩壊錠（OD錠）、水なしでも飲める錠剤、貼付剤など、いろいろな形状が開発されており、患者さんが使いやすいようにさまざまな工夫がされています。

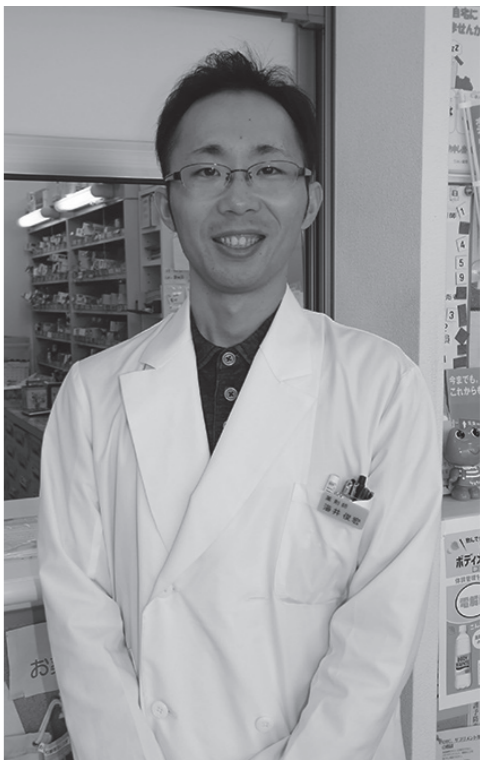
Q2. ジェネリック医薬品はどうして安いのですか？

新薬よりも開発期間が短く、コストが抑えられるからです。薬は、開発した会社が特許を取ると、20〜25年の間、その会社が独占的に製造・販売す

早く患者さんのお手元に届きます。もちろん、オーソライズド・ジェネリックもジェネリック医薬品の一つであるため、新薬より安価であることに変わりはありません。最後に・・・

ジェネリック医薬品を希望しても薬局に取り扱いがない場合もあります。希望すれば取り寄せもしてくれますが、あまり使われない薬だと取り寄せを渋る薬局もあるかもしれません。しかし患者さんの意思と選択が何よりも優先されますので、薬剤師とよく相談してください。ただ、あまり使用されないジェネリック医薬品を取り寄せてもらったから、できるだけその薬局を次回も利用していただきたいです。

ジェネリック医薬品を上手に利用するためにも、さまざまな情報をもっている、かかりつけの薬局をもつことをお勧めします。患者さんがこれまで使用していた薬のことをよく知っている薬剤師ならば、患者さんに合ったジェネリック医薬品を選ぶために、きめ細かい相談に応じられます。また、一度ジェネリック医薬品に変更したら、元の薬に



国保通信2

安心してご利用ください、ジェネリック医薬品

問い合わせ 保健医療課 ☎59-2141

医師会、歯科医師会、薬剤師会の先生方からの、健康よろず話を、3回にわたり紹介します。今回は薬剤師会の海井俊宏さんに伺いました。

ることができません。この特許が切れた後、開発した会社とは別の会社と同じ有効成分を使って製造・販売する薬が、ジェネリック医薬品です。開発期間は、新薬が9〜17年。それに比べて、ジェネリック医薬品は新薬で既に有効性や安全性が確認された有効成分を使って開発されるため、開発期間が3〜5年と、とても短くなります。期間が短い分、開発コストも大幅に抑えられるので、国が価格を新薬の約2〜5割に設定します。

Q3. 効き目や安全性は大丈夫でしょうか？

ジェネリック医薬品の開発にあたっては、医薬品メーカーがさまざまな試験（※）を行っており、新薬と効き目や安全性が同等と証明されたものだけが、厚生労働大臣によって承認されます。また、既に販売されているジェネリック医薬品も、信頼性の向上の観点から、都道府県などの協力を得て検査が実施され、検査結果も公表しています。効能や効果・用法・用量は基本的に変わりなく、製品により、新薬よりも飲みやすいように薬の大きさや味、においの改良や、湿気や光に弱いなどの

品質面の改善による保存性の向上など、より良く工夫されたものもあります。※「新薬と同様に体内で溶けるか（溶出試験）」「新薬と同速度かつ同量の有効成分が体内に吸収されるか（生物学的同等性試験）」「気温・湿度による品質への影響の有無」「長期保存による変化の有無（安定性試験）」など

Q4. オーソライズド・ジェネリック（AG）とはなんですか？

オーソライズド・ジェネリックとは、先発メーカーに特許などの使用を許可されたジェネリック医薬品のことです。一般的なジェネリック医薬品は、有効成分は先発品と同じですが、原薬や添加物、そして製造方法などが新薬と異なる場合があります。

オーソライズド・ジェネリックは、新薬のメーカーから特許などを許諾されたジェネリック医薬品なので、原薬や添加物、そして製造方法などが先発品と同一の医薬品です。もう一つの特長として、オーソライズド・ジェネリックは、新薬の特許が切れる前から販売が可能のため、一般的なジェネリック医薬品より



戻すことができないということはありません。以前に飲んでいた薬のほうがいい、と思ったら、医師にその旨を伝え、相談してください。新薬であろうとジェネリック医薬品であろうと、服用後の体調変化を医療関係者に伝えることは何より大切です。これは、薬を使用する時の常識になって欲しいと思っています。そしてぜひ、多くの方に医療に對してコスト意識を持っていただきたいと思ひます。

**特定健診
後期高齢者健診
がん検診**

— 今年度の健（検）診は —

2月29日（土）まで

医療機関名	ところ	電話番号	特定・後期・一般健診	大腸	子宮	乳	肝炎
1 大竹中央クリニック	新町1丁目1-25	52-6200	○	○	—	—	○
2 山下ケアクリニック	新町1丁目2-7	54-0852	○	○	—	—	○
3 しまだファミリークリニック	油見3丁目12-7	53-3022	○	○	—	—	○
4 レディースクリニックとよしま医院	油見3丁目19-6	53-7789	○	○	○	—	○
5 坪井クリニック	本町1丁目1-18	52-8337	○	○	—	—	○
6 シルククリニック	本町1丁目5-6	52-3313	○	○	○	—	○
7 大和橋医院	本町2丁目9-4	52-3059	○	○	—	—	○
8 本町医院	本町2丁目15-17	52-4427	○	○	—	—	○
9 村井内科クリニック	南栄1丁目6-15	52-8138	○	○	—	—	○
10 渡辺医院	立戸2丁目3-8	53-1151	○	○	—	—	○
11 おおえ内科クリニック	晴海1丁目4-13	35-5552	○	○	—	—	○
12 阿多田診療所	阿多田403-2	53-7061	○	○	—	—	○
13 佐川内科医院	玖波2丁目4-2	57-2233	○	○	—	—	○
14 メープルヒル病院	玖波5丁目2-1	57-7451	○	○	—	—	○
15 広島西医療センター (子宮頸がん・乳がんの受け付けは午前中のみ)	玖波4丁目1-1	57-7151	○	○	○	○	○

※広島西医療センターの大腸がん検診と肝炎ウイルス検診は、市が行う特定・後期・一般健診を同時に実施する場合のみ受診可能。

**健診専用
電話**

59-2155

(土・日曜日、祝日を除く)
8時30分から17時まで

問い合わせ 保健医療課 ☎59-2153

受診には、各受診券(昨年6月送付)が必要です。受診券の再発行は電話でも受け付けます。
健診の申し込み
各医療機関へ直接申し込んでください。